

科目名	クリエイションテクニックⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	300	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツ	76・77・78	商品企画作品1
3・4・5	プレタ	79・80	上田学園コレクション作品
6・7	シャツ	81・82・83	商品企画作品1
8・9・10	プレタ	84・85・86	上田学園コレクション作品
11・12	シャツ	87・88	商品企画作品1
13・14・15	プレタ	89・90・91	上田学園コレクション作品
16・17	シャツ	92・93	商品企画作品2
18・19・20	プレタ	94・95・96	上田学園コレクション作品
21・22	シャツ	97・98	商品企画作品 2
23・24・25	プレタ	99・100	上田学園コレクション作品
26・27	脇ゴムSK	101・102・103	商品企画作品2
28・29・30	カットソーパターン・縫製	104・105	上田学園コレクション作品
31・32・33	SkorPT(各自)	106・107・108	商品企画作品3
34・35	脇ゴムSK	109・110	上田学園コレクション作品
36・37・38	デニム素材概論	111・112・113	商品企画作品3
39・40	皮革	114・115	上田学園コレクション作品
41・42・43	デニム縫製	116・117・118	商品企画作品3
44・45	皮革	119・120	上田学園コレクション作品
46・47・48	デニム縫製	121・122・123	商品企画作品3
49・50	レース部分縫い	124・125	上田学園コレクション作品
51・52・53	デニム縫製	126・127・128	商品企画作品4
54・55	レース部分縫い	129・130	創作作品
56・57・58	ECサイト商品企画	131・132・133	商品企画作品4
59・60	KIDS作品	134・135	創作作品
61・62・63	ECサイト商品企画	136・137・138	商品企画作品4
64・65	KIDS作品	139・140	創作作品
66・67・68	ECサイト商品企画	141・142・143	商品企画作品4
69・70	KIDS作品	144・145	創作作品
71・72・73	ECサイト商品企画	146・147・148	まとめ
74・75	まとめ	149・150	まとめ

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)

指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『スカート』『パンツ』『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版

・教員作成のオリジナルプリント『ラグランスリーブのコート』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式

科目名	クリエイションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	120	作成者	林 和子
【科目の到達目標】 マーケットのトレンドと独創性でオリジナルの商品企画が出来る。			
【科目の概要】 マーケットを分析し、新たな視点から企画提案が出来る。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1	クリエイションデザイン3年概要	31	HEPプレゼンテーション
2	就職活動について	32	企画書制作
3・4	サステナビリティ	33・34	制作1
5・6	色・形・デザインの定義	35・36	制作2
7・8	企業研究①	37・38	制作3
9・10	企業研究②	39・40	制作4
11・12	商品企画①	41・42	制作5
13・14	商品企画②	43・44	制作6
15・16	トレンド分析1(メンズ)	45・46	制作7
17・18	トレンド分析2(メンズ)	47・48	制作8
19・20	トレンド分析1(ウィメンズ)	49・50	完成
21・22	トレンド分析2(ウィメンズ)	51・52	撮影準備
23・24	HEP企画表説明	53・54	撮影
25・26	企画・構成	55・56	ショップ運営準備 下げ札・ショッパー
27・28	マインドマップ・スケジュール制作・確認	57・58	ショップ運営準備 ディスプレイ
29・30	前期末テスト	59	後期末テスト
		60	最終打ち合わせ
【成績評価方法】 課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%			
【教科書・参考書】 ファッション週刊誌WWDジャパン『Fashion Desgin Resource』PNN新社 Robert Leach コンセプトのつくりかた ダイアモンド社 玉樹真一郎			
【教材・教具】 配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 実習の用意			

科目名	クリエイションパターンⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う。自由に企画・デザインするための形状の知識を培う。

【科目の概要】

基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発想、検証する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2 3・4 5・6	●パターンメイキング概論 ●ラッフルブラウス	31・32 33・34 35・36
7・8 9・10	●ダーツ操作のバリエーション ●襟のバリエーション	37・38 39・40 41・42
11・12 13・14 15・16 17・18	●マニプレのジャケット 工業用パターン 表襟、、見返し、裏地、芯地、仕様書	43・44 45・46
19・20	●ドレーピング ビスチェ	47・48 49・50
21・22 23・24	●グレーディング	51・52 53・54
25・26 27・28	●デザインスカート	55・56 57・58 59・60
29・30	試験&まとめ	

【成績評価方法】

課題の評価60%
期末試験の評価30%
授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』
配布プリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	クリエイションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	三谷和也

【科目の到達目標】
 半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】
 アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】【1単位 90分/コマ】		前期	後期
1	9頭身応用編、オリジナルのポーズ作成		
2	顔(前、横、斜め)髪、手、足		
3	男性ポーズ、顔、髪型		
4	小物、靴、ドレスデザイン(B4ケント紙)		
5	ドレスデザイン(B4ケント紙)		
6	キッズの書き方		
7	プリーツデザイン(B4ケント紙)墨入れ		
8	ガッシュ着色(B4ケント紙)		
9	マーカー着色(B4ケント紙)		
10	パステル着色(B4ケント紙)		
11	テーマ 宇宙自由デザイン		
12	ファーデザイン&ニットデザイン		
13	テーマキルティングダウン		
14	フォーマルスーツ		
15	テスト		

【成績評価方法】
 課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】
 立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
 ファッション画(志村萌)NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】
 ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 % 実習 0 %
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者をを目指す。

【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。

【授業計画】 90分/コマ	前期	後期
		第1週 第1章 アパレル産業の歴史と変遷 第11章 世界と日本の繊維生産 第2週 第2章 アパレル製品の商品企画 第3週 第3章 アパレル製品の副資材 - 1 第4週 第3章 アパレル製品の副資材 - 2 第5週 各論 第3章 スポーツウエア 第6週 第4章 アパレル製品用材料の試験と検査 第7週 第5章 アパレル製品の縫製と二次加工 第8週 各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下 第9週 第6章 アパレル製品の検査と品質管理 第10週 第7章 アパレル製品の安全・安心 第11週 各論 第1章 紳士服 - 1 第12週 第8章 アパレルの表示と関連法規 第13週 第9章 アパレル製品の洗濯とメンテナンス 第14週 各論 第1章 紳士服 - 2 各論 第2章 婦人服 第15週 第10章 アパレル製品の品質管理と消費者対応

【成績評価方法】
毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%

【教科書・参考書】
編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、
発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日

【教材・教具】
筆記用具

科目名	ファブリック演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【授業概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 布地まとめ
- 7 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 8 天然繊維(動物繊維)
- 9 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 10 化学繊維(合成繊維)
- 11 ■素材の機能性
- 12 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%、理解力50%(小テスト10%、総合テスト40%)、提出物40%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
- ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使し実習で制作した作品のポートフォリオが作成できる。就職先で即実践できるよう、活用するツールをマスターする。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。情報収集・分析から役立つものを見つけ価値を明確にし、その狙いや技術的な詳細などに触れながら、デザイン制作では気づかなかった感情・ノウハウを解き明かす。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1,2	PC基本操作① イラストレーターの基本操作	31,32	エクセル練習1、2、カレンダー制作
3,4	企業デザインからマップ作成① 商品構成マップⅠ	33,34	オリジナルパターン帳
5,6	企業デザインからマップ作成② 商品構成マップⅡ	35,36	エクセル関数・コスト計算
7,8	PC基本操作② イラストレーターの応用Ⅰ 便利ツールとキャラクター	37,38	下げ札コンテスト構成
9,10	プレタ準備 コンセプト入力	39,40	下げ札コンテスト製作
11,12	プレタ準備 下げ札入力	41,42	下げ札コンテスト提出
13,14	プレタ準備 下げ札入力	43,44	コンテスト①(アーバンリサーチ)
15,16	プレタポートフォリオ	45,46	コンテスト②
17,18	プレタポートフォリオ	47,48	コンテスト③
19,20	動画制作1	49,50	コンテスト提出
21,22	動画制作2	51,52	HEP企画パターン帳製作
23,24	動画制作完成	53,54	HEP企画下げ札製作
25,26	パワーポイント1	55,56	HEP企画DM製作
27,28	パワーポイント2	57,58	HEP企画内覧会説明書製作
29,30	前期末テスト	59,60	後期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	60	作成者	秦 野 知 邦
【科目の到達目標】 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。			
【授業計画】 前期 90分/コマ		後期	
1	世界のコレクションとプロモーションについて	16	ファッションビジネスの魅力について
2	即戦力⇒企業が求める人材とは	17	SPAとOEMと総合商社と繊維商社について
3	プロフェッショナルについて	18	メーカーにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
4	セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA	19	ショップにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
5	タイプ別SPAのショップをリサーチする	20	アパレル市場とマーケティング(Ⅲ)
6	タイプ別SPAを比較して分析する	21	アパレル戦略のプロセス(Ⅲ)
7	就活用としてのリサーチ資料を作成	22	現状のマーケット市場のリサーチ
8	資料内容をグループミーティングでプレゼン	23	就活用としての資料を作成
9	ファッションビジネスのトレンドを追う	24	リサーチ内容をグループミーティング・プレゼン
10	ファッションビジネスのトレンドを検証する	25	百貨店・ファッションビル・路面店への販路は
11	ファッションブランド戦略について	26	トップ販売員について
12	ブランディング・ブランドエクイティについて	27	取引と取引条件について(Ⅲ)
13	即戦力としての計数知識	28	マーチャンダイジングの成果と計数
14	仕事への自覚と準備	29	ファッションビジネスの展望と課題(Ⅲ)
15	期末テスト	30	期末テスト
【成績評価方法】 ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30%			
【教科書・参考書】 日経MJ ・ 繊維研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】 ノート ・ 筆記用具			

科目名	ニットCAD演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	重本昌利
【科目の到達目標】 ニットの基礎知識を有して、その知識を用いてオリジナルのニット製品を企画する事が出来る ニットデザイナーの養成を目標とする。			
【科目の概要】 現在市場で販売されるアパレル商品の中で、ニット製品の占める比率は大変多い。 また、カットソーとニットのドッキングなど、生地とニット両方の知識を有したデザイナーが必要とされている。 織生地と、ニット生地の違いを比較しながらニットの基礎知識の理解を深めていく。			
【授業計画】 90分/コマ			
1・2 ニットの基礎 概要 ニットCAD 基礎知識 3・4 組織編み 1 5・6 組織編み 2 7・8 組織編み 3 9・10 ジャカードの考察 11・12 インターシャの考察 13・14 まとめ、総復習 15 テスト			
【成績評価方法】 課題評価 50% 期末試験 40%、平常点 10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 A4用紙 縦型A4フラットファイル SDS-ONE(ニットCAD) SES122-S 8G (コンピューター制御横編み機)			